



THE ROTARY CLUB OF PORT NAGOYA

Weekly Report

名古屋みなと

2020~2021

承認 1966年 5月12日 例会日 金曜日 12:30
 例会場 名古屋マリオットアソシアホテル
 事務局 TEL 052-221-7020 FAX 052-221-7023
 E-Mail office@portnagoya-rc.com
 URL http://www.portnagoya-rc.com
 会長 高田 和裕 幹事 村田 誠一
 広報・雑誌・会報委員長 久留宮 秀郎

ROTARY OPENS OPPORTUNITIES. ロータリーは機会の扉を開く R.I. 会長 ホルガー・クナーク



第2587回例会 No.11
 2020年(令和2年)10月21日(水) 晴
 「手に手つないで」
 岡部ガバナー公式訪問

出席報告

会員 63 名中 出席 36 名 出席率 57.14%

○ゲスト 第2760地区ガバナー 岡部 勢 様

地区幹事 伊藤 満琉様

○ビジター 西尾RC 三浦 真澄さん

会長挨拶



皆さんこんにちは。本日は、今年度のメインイベント、岡部ガバナーの公式訪問です。伊藤地区幹事と共に起こし頂いております。ガバナー公式訪問は、通例3クラブ合同例会でとりおこなわれますが、コロナの影響下という事で、当クラブは単独にてガバナー公式訪問をしていただきました。

まずもって、このようなご配慮、岡部ガバナー・伊藤地区幹事に感謝申し上げます。岡部ガバナーの年度方針に、コロナに負けず、日本のロータリー100周年という記念すべき年に、クラブでも大きく奉仕活動を推進し、世界の平和につなげ、仲間を増やして行こうという言葉があります。そして、地区方針につながります。

「行動するロータリアン！世界で何か、

よいことをしよう、TOGETHER！」

一ロータリークラブの奉仕が、世界の平和につながってゆきますー

本日は、これを岡部ガバナーから掘り下げて後ほど講和いただけたと思います。私の年度方針、「一燈照寓・万燈照国」は岡部ガバナーの年度方針を何度も読むうちに自然とでてまいりました。そして、R.I. 会長ホルガー・クナークの講演のなかの一文にたどりつきました。「太陽が出ているうちに屋根を修理しなければならぬ」R.I. テーマは、とてもわかりやすいです。



「ロータリーは機会の扉を開く」みんな一緒になってドアのぶに手をかけドアを開こうよ。いろんな行動の道が広がっているよ。一緒に行動しようよ。と。

さて、10月24日は世界ポリオデーです。

世界ポリオデーは、ポリオ根絶活動についての認識を高める事を目的に、世界中のロータリアンとローターアクターが行動を起こす機会です。私たち全員がコミットメントを保ち続け、根絶を実現すれば、ポリオは人類史上2番目に根絶される疫病となります。今年、世界保健機関(WHO)にアフリカ地域の野生型ポリオウイルス根絶が正式に認定されました。野生型ポリオウイルスは今でも、アフガニスタンとパキスタンで子供達の身体まひを引き起こしています。地球のどこかにポリオが存在する限り、その脅威は引き続き世界全体に及びます。世界の子供にワクチンを届けるための支援に皆で協力してポリオ根絶を達成しましょう。私は、ポリオワクチン接種のため2度インドにいきました。一度目は、ロータリー入会してまもないころ、同じクラブの先輩、水谷君と三枝樹君と共に地区ポリオ委員会主催のワクチン投与に参加して。特に一度目はロータリアンだけの参加でしたので劣悪の環境のところに行きました。二度目は、地区委員会に私がはいりローターアクターと共に行きました。この、二つの行動が自分がロータリアンであると大きく認識した時でした。最後に一冊の本を紹介させていただきます。

「生きるヒント」五木寛之 文化出版局



人はみな泣きながら生まれて来る
 (シェークスピア:リア王より)
 人間の一生というものが死へむかって進んでゆく旅行である。

例会、楽しんでください。



ニコBOX

(ガバナー公式訪問よろしくお願い致します)

岡部ガバナー・伊藤地区幹事

(岡部ガバナー、伊藤地区幹事、本日はありがとうございます)

高田会長

(岡部ガバナー、伊藤地区幹事、単独開催にして頂きありがとうございます)

村田幹事

(岡部ガバナー一年間大変ごくろう様です。本日はようこそお越し下さいました)

芹澤君

(岡部ガバナー、伊藤地区幹事、本日はよろしくお願いいたします)

寺本君

(ベネファクター協力させて頂きました)

野崎君

(渡辺健吾さん、先日は大変ありがとうございました)

中井君、加藤(嗣)君、田中君

本日合計	25,000 円
ニコニコ DAY	72,000 円
累 計	1,061,000 円

幹事報告

村田 誠一君

①忘年家族会の件

本日ご案内させて頂きました忘年家族会ですが、予定通り 12/17 に開催致します。コロナ感染予防を施し、アトラクションは中止とさせて頂き、着座を守りながらの開催とさせて頂きます。その分食事とくじ引きの景品を豪華にしております。皆さんのご参加をお願いします。

②ローターアクトの件

「RC と RAC の共同事業 緑の散歩道プロジェクト」が 11/7 上小田井で開催予定されます。メール・FAX 等でご案内させて頂いておりますが只今 4 名の参加です。当日は岡部ガバナーも参加されます。10/23 が締切りですので皆さんの参加をお願いします。

③例会開催日の件

今週 10/23 は休会、翌週 10/30 は例会変更の為お休みです。11/6 は休会です。

次回例会開催日は 11/13 となります。お間違えなきようお願いします。

④ 例会終了後、16 階ロビーにおきまして前年度の最終理事会が開催されます。対象の方はお集まりください。

ガバナー・会長・幹事懇談会議事録

とき 10月21日(水) 11:30~

ところ 名古屋マリオットアソシアホテル
17 階「楠」

出席者 岡部ガバナー、伊藤地区幹事、
高田会長、村田幹事

地区の現状を岡部ガバナーから説明。コロナ禍であります活動止める事無く、奉仕と親睦が図れるよう工夫して下さい。3/14 の地区大会は 1 日ではありますが、その分内容が濃いものとなっております。大懇親会を開催予定。





私は1月に最後のガバナーエレクト研修になるサンディエゴ国際協議会へ参加しました。サンディエゴはロスアンゼルスから南へ車で2時間、メキシコ国境近くに位置する気候温暖な街です。ここにあるマンチェスター・グランドハイアット・サンディエゴという3000人は収容できる

超大型ツインタワーホテルで協議会は行われました。米軍の軍港でもあり、映画「トップガン」の舞台としても知られています。前日にはホテルに入りましたが、吊看板などもすでに雰囲気が出ていました。世界534地区から集まりますので、案内板も8か国語と国際的です。国際協議会はこの垂れ幕にあるように、協議会であり単なる会議ではありません。今年の協議会本会議ではローターアクトのプレゼンが目立ちました。RIのローターアクトに寄せる期待を伺わせませす。ご存知のようにローターアクトは2022年7月から人頭分担金を払ってロータリアンになります。スライドのようにホルガー・クナーク氏はローターアクトが大好きです。次のスライドに参ります。この方は、最近注目されたRIのCEO、ジョン・ヒューコ氏です。この日も「変化の中でのリーダーシップ」という題で講演をしましたが、「スペイン語でやるか?」「オー!」、ということでききなり全講演スペイン語でした。英語もロシア語もできる有能な世界最大の弁護士事務所ベーカー・アンド・マッケンジー出身のRI司令塔ですが、次のスライドのように意外に気さくな方で名刺交換、写真撮影も気軽に応じていただきました。本当にわからないことはヒューコさんに聞こうと思います。次の方は人気講師のブラウンさん、クラブを記憶に残るものにしようと話され大変人気がありました。そして次のスライドは本会議後に毎日行われる分科会です。1セッション90分で難問も多く皆、頭を悩ませます。昨年に続き世界から60人のローターアクトが国際協議会に参加し、日本のローターアクト代表も分科会に参加しました。男性は千葉の、女性は静岡のアクターです。発言もしっかりでき、将来頼もしいロータリアンになりそうです。そして、これは世界の同期ガバナーエレクトが集まり、テーマに沿ってアイデアを出し合い、後ろのボードに張り付けてアイデアを競う、というセッションです。6か国語で行われ大変国際的なセッションだと思いました。さて、本題に入ってゆきます。これはホルガー・クナーク氏が今年度のテーマ「ロータリーは機会の扉を開く」を発表した瞬間の映像です。2020-21年度ホルガー・クナークRI会長は、「ヘルツォークトム・ラウエンブルク・メルン」ロータリークラブ所属でドイツの方です。スザンヌ夫人と青少年交換をホ

ストファミリーとして多く受け入れられ実績をあげられた方と伺っています。それでは国際協議会でのクナーク氏の講演ビデオがありますので、ご視聴ください。約5分です。【視聴約5分】

いかがでしたでしょうか?ここ数年でも大変よいスピーチだと評判でした。この講演の要旨を述べます。

1. ロータリーを唯一無二にするのは、国境を超えた多様性（多様性の否定は争いを生みます）。
2. ロータリアンは共有する価値観の下に集まった人々。
3. その価値観とは、「4つのテスト」と「中核的価値観」
4. ロータリーは奉仕プロジェクトを実施する機会を与えてくれる（利他の精神）。
5. 寄付も重要ですが、奉仕プロジェクトをできるのがロータリーの魅力。
6. それらは、実際に目で見て体験できるもの（私も地区の国際奉仕等で多く体験しました）。
7. ロータリーはリーダーシップの機会も与えてくれる（クラブの役目に素晴らしいロータリアンを育てること、があります）。
8. リーダーは、別の人々のリーダーシップも養成することができ、さらにそれ以外の人にもインスピレーションを与えられる。
9. この変化の時代にリーダーとなれる人は幸い（新型コロナ禍の今こそロータリアン活躍の時です!）。
10. 「ロータリーは機会の扉を開く」。それは、世界の人々に開かれた扉。

です。次のスライドです。

「4つのテスト」、皆さんご存知ですね。そして「中核的価値観」は、『親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップ』。この2つは変わらないロータリアンの価値観であり、この価値観のもとにロータリアンはいます。そして、ロータリーのビジョン声明、「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」。

Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change — across the globe, in our communities, and in ourselves.

ホルガー・クナーク氏の「TOGETHER」が入っています。私の地区方針にもあります。

そしてRI戦略計画：4つの優先事項

- より大きなインパクトをもたらす
- 参加者の基盤を広げる
- 参加者の積極的なかわりを促す
- 適応力を高める

奉仕プロジェクトについては、この4つに当てはめて、よく検討し実施する必要があります。

これらのRIテーマなどを受けて、私は2020-21年度岡部年度地区方針を、

『行動するロータリアン！

世界で何かよいことをしよう、TOGETHER!』

ー ロータリークラブの奉仕が、世界の平和につながってゆきます」としました。大げさな！と思われるかもしれませんが、国際協議会で集まったやる気満々の世界534地区のガバナーエレクト達が、世界200か国に戻って一斉に奉仕をするわけですから、世界が変わらない理由はありません。私の体感でもあります。クラブの皆さんの奉仕も、その一つ一つが規模の大小はあっても世界平和に役立つのです。

「自信」をもって邁進してください。今年度は「地区ビジョン」も設けました。

私たち第2760地区は、RIテーマをよく理解した上で、それぞれの地域、クラブの特性を鑑みて「活力のある、個性に満ちた、多様性のある」クラブが活躍できる場所・場面を提案・支援してゆきます」。

「クラブが中心」ということを明確にしました。

さらに、岡部年度の地区行動指針です。

1. クラブはロータリーの中心。クラブの活性化を図ろう。ロータリーはクラブがその中心です。クラブ戦略委員会を設置して5年後のビジョンを描き、その魅力を会員に伝えます。また、クラブ研修委員会を設置して、それを持続可能にする入会3年以内のクラブ会員のリーダーシップを養成しましょう。職業奉仕を通じて社会に貢献し、奉仕プロジェクトを行って、クラブの活性化、会員増強につなげましょう。テーマは「環境」が重視されます。財団のDDFを活用してください。(今は新型コロナも重点分野です)

2. ロータリーファミリーとの連携強化をしよう。ローターアクト、インターアクト、ライラリアン、青少年交換学生、米山記念奨学生たちの若い力を積極的に取り入れてロータリーの活性化を図りましょう。また、RCC(ロータリー地域社会共同隊)と連携してより大きな展開を図りましょう。

3. オンライン・ツール、リソースの活用をしよう。マイロータリーには様々な情報リソースがあります。ロータリー賞も今年からクラブセントラルでの申請になります。ラーニングセンターもぜひ活用してください。

4. 会員増強をしよう

奉仕プロジェクトによる会員増強。今年度はローターアクトがクローズアップされています。ロータリアンとローターアクトとの共同作業を通じて双方が刺激しあい、より高次の活動を開発し、仲間を増やしましょう。また、新クラブ結成のために「衛星クラブ」を考慮にいてください。

5. ロータリー賞へ挑戦しよう。(地区便覧参照)
今年度からクラブセントラルでの申請になりますのでご注意ください。

6. 国際大会(台湾。台北市、2021年6月12日(土)～16日(水)へ参加しよう。
台湾は親日国であり、旅の魅力も一杯です。台湾で世界のロータリアンと交流しましょう。ガバナーナイトは6月13日(日)圓山大飯店です。

ここでクラブの皆さんにお願いです。

1. 2021年3月14日愛知県国際展示場でのハイブリッド地区大会が行われます。100%全員登録運動にご協力ください。(地区研修・協議会がかなりコストダウンし、登録者一人当たり7500円返金できました、2500円を足していただくと地区大会に登録できます。来場しても出来なくても参加できるハイブリッド地区大会で、講師は新型コロナでさらに有名になった東国原英夫さんです。今年は新型コロナ禍でイベントも少ないので是非ご登録ください。ガバナー、ガバナーエレクトは、本来全員登録を目指す責務があります。他地区では全員登録が当たり前の地区もあります。)

2. MY ROTARYがバージョンアップし、使い易くなりました。是非登録をお願いします。

3. ロータリー財団・米山記念奨学事業へのご寄付をよろしくお願いいたします。(今年は日本のロータリー100周年です)

4. 台北国際大会へ参加しましょう。一生の思い出になります。また、これは新型コロナ禍でいったん中止になりましたが、財団の大口寄付者には、ゴルフでの世界の帝王ジャック・ニクラウス氏の個人レッスンがインセンティブとしてついていました。ゴルフファン垂涎のイベントです。大口寄付をお考えの方は是非財団にご確認ください。さて、1月の米国サンディエゴでの国際協議会の時に、2020-21年度ホルガー・クナークRI会長から、「公式訪問の際に、クラブ会員の皆さんに伝えてください」と書簡を預かっております。この場を借りて、皆さんに読み上げさせていただきます。また、2021年度ガバナーには、次の重要メッセージをクラブ公式訪問の際に伝えることをお願いします。

1. 地区は、新しい革新的なクラブモデルを作ることにより積極的に取り組みます。

そのためには皆様からのご支援が必要となります。皆様はまた、衛星クラブや地域社会を基盤とするローターアクトクラブを立ち上げることで、参加者の基盤を広げることに貢献できます。

2. すべてのクラブは毎年、少なくとも一回の戦略会議を開き、皆様には次のことを会員に問いかけていただきます。「私たちのクラブは5年後にどのようなクラブになっているべきか、また、このビジョンを達成するためにどのようなステップを踏むべきか」「私たちのクラブで、会員はどのような価値を得ることができるか」。この会議を進行できる人を選んでください。

3. 新会員を注意して選びましょう。新会員にとって皆さまのクラブがぴったりと合うこと、そして新会員の期待に応えるクラブであることを確認しましょう。新会員の面倒を見て、積極的な参加を促してください。ロータリアンとなるのに不相应な年齢などありません。

4. ポリオ根絶のための寄付を行い、10月の世界ポリオデーに合わせた行事、イベントを開催し、これからも根絶活動の支援を継続していきましょう。私たちは、世界の子どもたちと交わした約束を守らなければなりません。敬具
ホルガー・クナーク
2020-21年度国際ロータリー会長

さて、最後に近づいてまいりました。
ここでつい最近、クナークRI会長から特に日本人会員に向けていただいたメッセージビデオを披露したいと思います。約5分です。ご視聴ください。
いかがでしたでしょうか？日本の職業奉仕についても大変高い評価をされています。

さて、これで最後です。
ロータリーの創始者ポール・ハリスは、『変化の時代に「革命的になるべし！」』と申されました。「新型コロナに負けるな！」、クラブの皆さんよろしくお願いいたします。
これをもって私の講話を終了します。ご静聴ありがとうございました。



名古屋中央ローターアクトクラブ例会報告

名古屋中央ローターアクトクラブ

幹事 都築 瑠衣さん

令和2年10月21日（水）、今池ガスビルにて10月第2例会を開催しました。この日のテーマは『マナー』ということで、入室の際のノックについての話から始まり国際的なマナーなどについて学習しました。名古屋みなとロータリークラブ様からも、お忙しい中たくさんの方が参加していただき非常に賑やかな空気で例会を進めることが出来ました。

マナーと一口に言っても、日本では普通とされる行動が国際交流の場面では相手に違和感を与えてしまうこともあります。何が「正しい」のかではなく何が「適している」のか、相手や場面に応じて意識して行動していきたいと感じました。次回の例会は名古屋芸術大学 RAC との合同例会として ZOOM を利用してオンライン交流会を行う予定です。また来月11月7日

（日）には「緑の散歩道プロジェクト」の開催も予定されています。先月の台風により延期となってしまったこちらのプロジェクトは当クラブのメンバーが発案・企画者として動いており、わたし達にとっても非常に楽しみなプロジェクトになっております。ぜひ多くの方のご参加をお待ちしております。



Cグループ家庭集会報告

とき 令和2年10月23日 18:00～

ところ 「駒響」

リーダー 田島 サブリーダー 市野

出席者 酒井、田島、高村、寺本、長瀬、
市野、寺西 計7名



酒井先生の乾杯から和やかに始まりました。

テーマ『コロナ禍におけるホームクラブのあり方』

田島リーダーから冒頭お話がありました。

・コロナは指定感染症に指定されたが、医学的・科学的根拠に基づいて感染予防措置を講じながら色々なことが制限されている。

・RCの例会は『人が集まって話をする権利』に基づいているが、メディアに煽られすぎて萎縮度合いが大きい。

・若者からの感染はたしかに怖い、この環境下でも集まる人数が多いということは、それだけ皆が集まりたいと思っている、ということなので例会は可能な限り開催していくべきである。

・メディアで、芸能人やタレントがコメントしているが、それはメディアに都合のいい意見だけが取り上げられることに注意が必要。

・例会の回数が少なくなっているのは淋しい。出席するかしないかは各個人の都合なのでそこは尊重しつつ、【出席したい】という気持ちを大切に開催した方がいいのではないかな。

・顔を会わせる機会はある程度ある方が懇親も深まり、社会奉仕もできる。

・コロナの中で、駅も一人、電車も一人、あとはテレワーク、という現状もあった中で例会に出ることは、気を引き締めて出かけるきっかけを作るという意味ではいいきっかけだと思う。

・みなとは先輩方がたくさんいらっしゃるの、もっとディスカッションができる場を増やしたらいいと思う。

・集まる機会を増やす工夫、席次を変える工夫、コロナ禍の中でもやれることはまだまだあると思う。

・コロナで縮こまってはダメで、ある程度は挑戦していく姿勢はロータリーとしては維持して欲しい。

・例会ができることのありがたさは例会が再開して始めて感じたこと。

・ロータリーに対する考え方が皆さん真剣であることがよく伝わってくる、非常にいい時間だった。

・人数が少なくなってきたので委員会を合併するなどして役割を集約し、ホームクラブの結束を強めていくことが大切だと思う。

2019～2020 年度最終理事会議事録

とき 10月2日（金）13:35～

ところ 名古屋マリオットアソシアホテル
16階タワーズボールルーム控えの間

出席者 芹澤、高田、岩佐、室原、山内、岡田、
沼野、渡辺、三枝樹、長瀬、村田
11名（敬称略）

① 審議事項

1. 2019～2020 年度 決算報告書の承認について
→ 12月4日の年次総会において、
2019-2020 年度の「財務(決算)報告」を行うにあたり、決算の承認にかかる審議をお願いしたい。

→ 全会一致にて【承認】

月	日	今後の例会予定
10	30	例会変更 (3/14 地区大会)
	6	休会
	13	卓話「末期がんからの復活爆笑ストーリー」 元気アカデミー代表プロデューサー 加藤 由香さん 17F「コスモス」
11	20	卓話「ロータリー財団プログラムについて」～財団は、ロータリーの財産です～ 資金推進委員会 副委員長 佐野 彰彦君 17F「コスモス」
	27	休会
	4	年次総会 17F「コスモス」
	11	港友例会 17F「コスモス」
12	18	例会変更 家族忘年会 12/17（木） 16F「アイリス」
	25	休会